

開会の辞 09:25～09:30

門脇 孝(東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科)

セクション 1 09:30～10:30

座長 山田 祐一郎(京都大学医学系研究科・病態代謝栄養学)

1. 膵島発現遺伝子のプロファイリング

群馬大学生体調節研究所調節機構部門遺伝情報分野、かずさDNA研究所<sup>1)</sup>

金 玲、王 虹、山田 思郎、菊野 玲子<sup>1)</sup>、小原 収<sup>1)</sup>、堀川 幸男、武田 純

2. グルコース応答性インスリン分泌不全モデルにおける GIP シグナルの役割

名古屋大学医学部内科学第一講座、京都大学大学院医学研究科病態代謝栄養学<sup>1)</sup>

月山 克史、三浦 義孝、大磯 ユタカ、宮脇 一真<sup>1)</sup>、山田 祐一郎<sup>1)</sup>、  
清野 裕<sup>1)</sup>

3. インクレチンによるインスリン分泌増強機構：cAMP-GEF /Rim2 複合体の重要性

千葉大学大学院医学研究院細胞分子医学

鹿島 康薫、三木 隆司、柴崎 忠雄、矢野 秀樹、清野 進

4. 膵 細胞のインスリン分泌機構における Rab27a/Granuphilin 複合体の役割

群馬大学生体調節研究所遺伝子調節部門

伊 兆候、鳥居 征司、泉 哲郎

5. アデノウイルスベクターを用いた肝・膵への経総胆管的遺伝子導入-インスリン産生細胞の再生をめざして

大阪大学大学院医学系研究科加齢医学、同分子防御医学<sup>1)</sup>

谷口 秀典、倭 英司<sup>1)</sup>、田代 文<sup>1)</sup>、池上 博司、萩原 俊男、宮崎 純一<sup>1)</sup>

セクション 2

10:30～ 11:42

座長 三家 登喜夫(和歌山県立医科大学臨床検査医学)

- 6 . 膵 AR42J 細胞におけるカルボニンの発現とその分化過程に対する役割  
大阪市立大学大学院医学研究科代謝内分泌病態内科学、大阪府立成人病センター研究所病態生理学部門<sup>1)</sup>、癌研究所生化学部<sup>2)</sup>、東京大学大学院医学系研究科<sup>3)</sup>、群馬大学生体調節研究所<sup>4)</sup>  
森岡 与明、小山 英則、田中 新二、絵本 正憲、山村 倫子<sup>1)</sup>、  
高橋 克仁<sup>1)</sup>、今村 健志<sup>2)</sup>、宮園 浩平<sup>3)</sup>、小島 至<sup>4)</sup>、西沢 良記
  
- 7 . 膵 細胞における新規 HNF-1 標的遺伝子 collection の同定  
大阪大学大学院医学系研究科分子制御内科学、Clinical Biochemistry, University Medical Center<sup>1)</sup>、  
岡山大学腎・免疫・内分泌代謝内科<sup>2)</sup>  
楊 勤、山縣 和也、曹 陽、李 銘、福井 健司、Haiyan Wang<sup>1)</sup>、  
和田 淳<sup>2)</sup>、Claes B. Wollheim<sup>1)</sup>、宮川 潤一郎、松澤 佑次
  
- 8 . 膵 細胞分化因子 Nkx2.2 の発現調節メカニズム  
順天堂大学医学部内科・代謝内分泌学講座、University of California San Francisco, Hormone Research Institute<sup>1)</sup>  
綿田 裕孝、荻原 健、野見山 崇、Michael S. German<sup>1)</sup>、河盛 隆造
  
- 9 . 膵 細胞ブドウ糖毒性と転写因子 PDX-1/IPF1:Oxidative Stress-dependent, JNK1-mediated, Nucleo-cytoplasmic Translocation  
大阪大学大学院医学系研究科病態情報内科学  
河盛 段、梶本 佳孝、馬屋原 豊、五郎川 伸一、安田 哲行、宮塚 健、  
黒田 暁生、吉田 茂、松久 宗英、山崎 義光、堀 正二
  
- 10 . Reg-Reg 受容体系による膵 細胞の再生増殖と apoptosis-HGF 遺伝子の活性化による apoptosis の防止  
東北大学大学院医学系研究科医学生物化学講座生物化学分野  
中川 圭、秋山 貴子、池田 崇之、Nausheen J. Shervani、那谷 耕司、  
井上 大輔、野口 直哉、海野 倫明、松野 正紀、高沢 伸、岡本 宏
  
- 11 . 新規糖尿病発症機構の解明；小胞体ストレスによる膵 細胞障害機序の解析  
熊本大学医学部代謝内科学講座、同分子遺伝学講座<sup>1)</sup>

親泊 政一、水流添 覚、吉里 和晃、河島 淳司、児玉 章子、中丸 和彦、  
松本 和也、豊永 哲至、城谷 哲也、森 正敬<sup>1)</sup>、荒木 栄一

特別講演 I 11:42～ 12:42

座長 池上 博司(大阪大学大学院医学系研究科加齢医学)

マウスモデルを用いた多因子病解析の戦略

野田 哲生(癌研細胞生物部部長・東北大学大学院医学系研究科教授)

昼食 12:42～ 13:30

セクション 3 13:30～14:30

座長 谷澤 幸生(山口大学大学院医学研究科応用医工学系生体シグナル解析医学分子病態  
解析学)

12. 新規 HNF-4 コアクチベーター、Thyroid hormone receptor interacting protein(TRIP3)の同定

大阪医科大学第一内科、大阪大学大学院医学系研究科分子制御内科学<sup>1)</sup>

寺前 純吾、山縣 和也<sup>1)</sup>、岩橋 博見<sup>1)</sup>、宮川 潤一郎<sup>1)</sup>、松澤 佑次<sup>1)</sup>、  
花房 俊昭

13. ヒトアミリン変異遺伝子(S20G)による2型糖尿病発症への影響の検討

西和歌山病院内科、Mayo Clinic<sup>1)</sup>、和歌山県立医科大学臨床検査医学<sup>2)</sup>、  
同第一内科<sup>3)</sup>

坂頭 節哉、Norman L. Eberhardt<sup>1)</sup>、三家 登喜夫<sup>2)</sup>、南條 輝志男<sup>3)</sup>

14. 日本人糖尿病2型患者におけるextracellular superoxide dismutase(EC-SOD)遺伝子の検討

和歌山県立医科大学第一内科、同臨床検査医学<sup>1)</sup>

玉井 昌紀、古田 浩人、石亀 昌幸、小上 直子、下村 裕子、古田 眞智、  
英 肇、西 理宏、佐々木 秀行、三家 登喜夫<sup>1)</sup>、南條 輝志男

15. Glycosylphosphatidylinositol-specific phospholipase D 遺伝子多型と2型糖尿病

東北大学大学院医学系研究科分子代謝病態学分野・糖尿病代謝科

平井 完史、鈴木 進、檜尾 好徳、鈴木 千登世、岡 芳知

16. 新たな糖尿病モデルマウス-ICER I transgenic mouse-

京都大学医学系研究科・病態代謝栄養学

稲田 明理、山田 祐一郎、清野 裕

セッション 4 14:30～ 15:42

座長 荒木 栄一(熊本大学医学部代謝内科)

17. インスリン情報伝達におけるシグナル蛋白の細胞内局在の意義

滋賀医科大学第三内科

江川 克哉、前川 聡、Shi Kun、森野 勝太郎、清水 真也、吉崎 健、  
卯木 智、柏木 厚典

18. 3種の各MAPキナーゼ経路によるIRS-1およびIRS-2発現調節機構の相違

東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科、東北大学大学院医学系研究科分子代謝  
病態学分野・糖尿病代謝科<sup>1)</sup>、東京大学分子細胞生物学研究所<sup>2)</sup>、朝日生命成人病研究  
所<sup>3)</sup>

藤城 緑、片桐 秀樹<sup>1)</sup>、後藤 由季子<sup>2)</sup>、佃 克則、穴井 元暢<sup>3)</sup>、迫田 秀之<sup>3)</sup>、  
大西 由希子<sup>3)</sup>、小野 啓<sup>3)</sup> 阿部 美穂、庄嶋 伸浩、  
菊池 方利<sup>3)</sup>、浅野 知一郎

19. アデノウイルスベクターを用いた肝特異的PI3-キナーゼシグナル遮断マウスの解析

神戸大学大学院医学系研究科糖尿病代謝・消化器・腎臓内科

三宅 一彰、小川 渉、松本 道宏、春日 雅人

20. インスリンはダイニン依存性GLUT4小胞輸送を刺激する

山口大学大学院医学研究科応用医工学系生体シグナル解析医学分子病態解析学、  
University of Massachusetts Medical Center<sup>1)</sup>

江本 政広、Michael P. Czech<sup>1)</sup>、岡 芳知

21. db/dbマウスにおいて認められるインスリン抵抗性病態でのSHIP2の機構解析

富山医科薬科大学第一内科、同臨床薬理学<sup>1)</sup>

堀 宏之、笹岡 利安<sup>1)</sup>、石原 元、和田 努、石木 学、村上 史峰、  
福居 和人、岩田 実、川原 順子、平谷 和幸、小林 正

22. 酸化ストレスに伴うインスリン抵抗性の分子機構-アゾホソリン 持続注入ラットおよび  
Buthionine Sulphoximine(BSO)投与ラットを用いた検討

東京大学大学院医学系研究科腎臓・内分泌内科、同糖尿病・代謝内科<sup>1)</sup>、朝日生命成人  
病研究所<sup>2)</sup>、東京大学先端科学研究センター<sup>3)</sup>、千葉大学大学院医学研究院循環病態医

学<sup>4)</sup>

萩原 健英<sup>1)</sup>、安東 克之、千葉 優子、浅野 知一郎<sup>1)</sup>、菊池 方利<sup>2)</sup>、  
野口 範子<sup>3)</sup>、油谷 浩幸<sup>3)</sup>、小室 一成<sup>4)</sup>、藤田 敏郎

セクション 5                      15:42～                      16:42

座長 鈴木 進(東北大学大学院医学系研究科分子代謝病態学分野・糖尿病代謝科)

23. 3T3-L1 脂肪細胞分化による phosphodiesterase3B 遺伝子プロモーターの活性化

愛媛大学医学部臨床検査医学、千葉大学大学院医学研究院細胞治療学<sup>1)</sup>、  
福井医科大学第二生化学<sup>2)</sup>

大澤 春彦、新家 敏之、大沼 裕、鈴木 義史<sup>1)</sup>、平良 真人<sup>1)</sup>、  
山田 一哉<sup>2)</sup>、牧野 英一

24. 新規レジスチン関連蛋白のクローニングとレジスチン遺伝子ファミリーアイソフォームの機能の比較検討

埼玉医科大学第四内科、東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科<sup>1)</sup>

犬飼 浩一、渡辺 昌樹、宋 海燕、浅野 知一郎、粟田 卓也、片山 茂裕

25. 個体レベルでのアディポネクチン作用過剰はインスリン感受性を増加させる-アディポネクチン過剰発現マウスと CBP ヘテロ欠損マウスの解析から-

東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科、

熊本大学医学部発生医学研究センター<sup>1)</sup>

山内 敏正、加門 淳司、脇 裕典、内田 晶子、窪田 直人、寺内 康夫、  
尾池 雄一<sup>1)</sup>、山村 研一<sup>1)</sup>、戸辺 一之、門脇 孝

26. 細胞移植法による TNF- $\alpha$  高発現動物モデルにおけるインスリン抵抗性の誘導

千葉大学大学院医学研究院細胞治療学、同臨床遺伝子応用医学<sup>1)</sup>

高橋 和男、柴崎 学、伊東 尚浩、武城 英明<sup>1)</sup>、斎藤 康

27. レプチンを用いた脂肪萎縮性糖尿病の治療

京都大学大学院医学系研究科臨床病態医科学、NIDDK, NIH<sup>1)</sup>

海老原 健、小川 佳宏、雪岡 日出男、宮永 史子、田中 智洋、  
増田 志帆子、日高 周次、林 達也、細田 公則、井上 元、Reitman ML<sup>1)</sup>、  
中尾 一和

